

政 治 ・ 経 済

問題 1. 次の文章を読んで、以下の設問に答えよ。

16世紀～18世紀のヨーロッパ諸国を支配していたのは、国王の権力は神に由来すると説く（①）による（②）であった。（②）は、近代国家の形成や商工業の発展に一定の役割を果たしたが、商工業を営む市民の自由な経済活動を制約していた。

やがて商工業の発展にともない勢力を強めた（③）が、（②）を倒し、自らが権力をにぎった。これが（④）である。イギリスのピューリタン革命と名誉革命、（⑤）、その後の（⑥）などが、その例である。

この（④）を理論的にささえたのが、㉠社会契約説であった。ロックは、人々が社会契約により政府を組織するのは、㉡生まれながらに有する自由・生命・財産の自然権を守るためであり、政府が社会契約に反した場合には、㉢人々は政府を変更する権利をもつと説いた。ロックが提唱したこのような諸権利は、国家権力も侵すことのできない、人間にとって最も基本的な権利であるという意味で、（⑦）と呼ばれる。

（④）で人々が求めたのは、自由な経済活動や信教の自由など、国家からの自由を求める（⑧）が中心であった。資本主義経済の成立時においては、（⑨）などを通じて工業化が進んだが、その反面で貧困や労働環境などの問題も顕著となった。各地で労働運動が発生し、人々の生活と福祉のために国家が積極的に活動することを求める主張が強まるようになる。

㉣1917年のロシア革命は、社会主義体制の樹立を目指したものであったが、この革命の影響を受けて資本主義国では、新たに生存権を中心とする（⑩）を基本的人権の重要な要素として加えるようになった。（⑩）の理念をはじめて規定したのは、㉤ドイツのワイマール憲法である。

問 1. 空欄（①）から（⑩）に入る最も適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

【語群】

- | | | | |
|-------------|---------|-----------|-----------|
| a. 市民革命 | b. 自由権 | c. 自由主義 | d. 夜警国家 |
| e. 産業革命 | f. 近代憲法 | g. 王権神授説 | h. エジプト革命 |
| i. 農業革命 | j. 行政権 | k. 基本的人権 | l. 社会権 |
| m. アメリカ独立革命 | n. 労働運動 | o. 資本家 | p. 市民階級 |
| q. メキシコ革命 | r. 絶対王政 | s. フランス革命 | |

問2. 下線部㉔について、ロックとともに社会契約説を唱えた人物を次のア～オから二つ選び、記号で答えよ。

- ア. フランソワ・ケネー
- イ. モンテスキュー
- ウ. ホッブズ
- エ. マルクス
- オ. ルソー

問3. 下線部㉕について、このことが説かれているロックの名著は何か。次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 統治二論（市民政府二論）
- イ. 資本論
- ウ. リバイアサン
- エ. 社会契約論
- オ. 国富論

問4. 下線部㉖について、この権利のことを何というか二つ答えよ。

問5. 下線部㉗について、この革命を指導した人物は誰か。次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. ウラジーミル・プーチン
- イ. ボリス・エリツィン
- ウ. ヨシフ・スターリン
- エ. ウラジーミル・レーニン
- オ. ミハイル・ゴルバチョフ

問6. 下線部㉘について、資本主義国の憲法としてはじめて、何の保障が宣言されたか答えよ。

問題2. 次の文章を読んで、以下の設問に答えよ。

商品が (①) をこえて自由に取引されるようになると、④各国は、他国よりも生産性が高く、安い費用で生産できる商品をつくって輸出し、他国よりも生産費が高い商品を輸入した方が有利になる。このことを前提として各国が商品の生産を分担し、(②) を通じて商品を交換しあうと (③) が成立する。

各地の状況を見ると、先進工業国の間では、それぞれの国が特定の工業製品の生産に特化する (④) が行われている。一方、先進工業国と発展途上国の間では、前者が (⑤) な工業製品に、賃金が低い後者がその原材料や部品、あるいは (⑥) な軽工業製品の生産に特化する (⑦) が確認できる。

⑧自由貿易の下では、発展途上国が工業化を進めることや、先進工業国が農業生産を維持することが困難になる場合がある。このような場合、国内産業を (⑧) するために、輸入品に対する (⑨) の徴収、(⑩) による輸入制限などといった貿易政策が必要とされることがある。⑨発展途上国もやがて先進工業国へ進展する可能性を秘めているのだから、国際競争力のない産業については、輸入量の規制を行う貿易政策を講じるべきだといった主張もある。

問1. 空欄 (①) から (⑩) に入る最も適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

【語群】

- | | | |
|----------|-----------|----------------|
| a. 国境 | b. 赤道 | c. 国際日付変更線 |
| d. 国際貿易 | e. 国際郵便 | f. 国際協力機構 |
| g. 国際通貨 | h. 国際分業 | i. 個別的分業 |
| j. 性的分業 | k. 社会的分業 | l. 水平的分業 |
| m. 垂直的分業 | n. 労働集約的 | o. 土地集約的 |
| p. 資本集約的 | q. ライフガード | r. スクラップアンドビルド |
| s. 統合・廃合 | t. 保護・育成 | u. 関税 |
| v. 物品税 | w. セーフガード | |

問2. 下線部④に示した理論を何というか答えよ。

問3. 下線部④に示した理論を提唱した経済学者は誰か答えよ。

問4. 下線部⑧は自由貿易がもたらすデメリットについて説明している。では、反対に自由貿易がもたらすメリットにはどのようなことが該当するか。20字以内で説明せよ (句読点を含む)。

問5. 下線部㉔に示した貿易政策を何というか。次のア～ウから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 中継貿易政策
- イ. 自由貿易政策
- ウ. 保護貿易政策

問6. 下線部㉔に示した貿易政策の必要性を説いた経済学者は誰か。次のア～ウから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. フリードリッヒ・リスト
- イ. アダム・スミス
- ウ. ウイリアム・ペティ

問題3. 次の文章を読んで、以下の設問に答えよ。

欧米では特定の職務を受けもつ人を柔軟に雇用する（①）型雇用が多い。④これに対して日本では、一括で雇用した後に職務内容を決めるメンバーシップ型雇用が多かった。この日本の雇用慣行の特徴には（②）や年功序列型賃金体系があげられる。今日では日本でも欧米型の雇用形態が広まりつつある。

2022年には③派遣労働者や契約社員といった（③）が雇用者の4割近くを占めるに至っている。多様な働き方により労働市場の柔軟性を高めることは、資格などを活かして自由な働き方を求める場合や、家事や育児の合間に短時間だけ働きたい場合に、労働者にとって就業機会が増えるメリットがある。しかし、企業にとってはコスト削減の手段となり、労働者にとって不利な雇用形態しか選べない不自由な働き方もなりえる。たとえば（④）を確立していない状態で、雇用形態のみを多様化することで不安定で不平等な働き方が増えたともいえる。とくに日本は、女性の賃金が男性の8割を下回るなど、世界的にみて大きな（⑤）がある。柔軟な労働市場が格差を拡大しない仕組みを伴って整備される必要がある。

⑤労働市場の柔軟性を高める場合に、社会保障の充実と両立させたフレキシキュリティと呼ばれる政策がデンマークやオランダなどで取り組まれてきた。

問1. 空欄（①）から（⑤）に入る最も適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

【語群】

- | | | |
|---------------|-----------|-------------|
| a. 非正規雇用 | b. パートタイム | c. 同一労働同一賃金 |
| d. 終身雇用制 | e. 継続雇用制 | f. 同一能力同一賃金 |
| g. ジェンダー・ギャップ | h. ジョブ | i. タスク |
| j. ソーシャル・ギャップ | | |

問2. 下線部④のメンバーシップ型雇用の特徴に当てはまる事項として正しいものはどれか。次のア～カから二つ選び、記号で答えよ。

- ア. 仕事に適した人材を採用し異動は少ない。
- イ. 専門知識や技能より広い知識をもつ総合力が求められる。
- ウ. 人手不足が生じたらその都度必要な人数を採用する。
- エ. 担当する職務に応じた賃金（職務給）が支払われる。
- オ. 業務の縮小・廃止が労働者の解雇につながりやすい。
- カ. 職務がなくなれば配置転換によって新しい仕事を与えられる。

問3. 下線部㉔の雇用形態の特徴として誤っているものはどれか。次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 有期労働契約が多い。
- イ. 所定内労働時間よりも短い時間で働くことが多い。
- ウ. 間接雇用がある。
- エ. ワーキングプアを拡大させた。
- オ. 労働組合の参加率が高い。

問4. 下線部㉕のフレキシキュリティを実現する政策の特徴として正しいものはどれか。次のア～オから二つ選び、記号で答えよ。

- ア. 企業が解雇することへの規制を厳しくする。
- イ. 失業給付を充実させる。
- ウ. 次の仕事に移るための教育訓練プログラムは充実していない。
- エ. 就業先や職種は固定的にする。
- オ. 職業訓練を受けることと社会保障を得られることを連携させる。